



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月9日

上場会社名 太平洋セメント株式会社

上場取引所

東・福

コード番号 5233

URL <https://www.taiheiyo-cement.co.jp/>

代表者(役職名) 代表取締役社長

(氏名) 不死原 正文

問合せ先責任者(役職名) 総務部長

(氏名) 鳥井 久史

(TEL) 03 - 5801 - 0334

四半期報告書提出予定日 2021年2月10日

配当支払開始予定日

—

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	652,714	△1.6	48,195	14.3	49,348	16.4	37,163	21.7
2020年3月期第3四半期	662,992	△4.3	42,156	△15.2	42,405	△13.7	30,541	△10.4

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 37,269百万円(23.9%) 2020年3月期第3四半期 30,089百万円(△4.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	307.11	—
2020年3月期第3四半期	249.55	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	1,066,643	495,797	43.1
2020年3月期	1,032,923	473,241	42.3

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 460,067百万円 2020年3月期 436,678百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00
2021年3月期	—	30.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	867,000	△2.0	63,000	3.3	63,000	4.1	41,000	4.7	339.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 〃、除外 1社(社名) 秦皇島淺野水泥有限公司

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、四半期決算短信(添付資料)8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期3Q	127,140,278株	2020年3月期	127,140,278株
------------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2021年3月期3Q	6,737,548株	2020年3月期	4,740,292株
------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期3Q	121,011,039株	2020年3月期3Q	122,387,915株
------------	--------------	------------	--------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、経済情勢、市場需要、原燃料価格、為替レート等様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結損益計算書に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、企業収益は急速に悪化しており、設備投資や雇用情勢は弱い動きとなりました。昨年5月の緊急事態宣言の解除以降、個人消費には持ち直しの動きが見られたものの、年末にかけて感染症拡大が深刻化し、引き続き景気は厳しい状況で推移しております。

また世界各国においても、政府による渡航や行動の制限、ロックダウン（都市封鎖）が発出されるなど経済活動は停滞しており、新型コロナウイルス感染症が長期化する中で、先行きは不透明さを増しております。

このような状況の中で、当第3四半期連結累計期間の売上高は6,527億1千4百万円（対前年同期102億7千7百万円減）、営業利益は481億9千5百万円（同60億3千8百万円増）、経常利益は493億4千8百万円（同69億4千2百万円増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は371億6千3百万円（同66億2千1百万円増）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。各金額については、セグメント間取引の相殺消去前の数値によっております。

① セメント

セメントの国内需要は、新型コロナウイルス感染症の拡大による工事中断等の影響が6月以降減少したものの、建設労働者不足による工程遅延や工期の長期化等の影響もあり、官公需・民需ともに低調に推移した結果、全体では2,961万屯と前年に比べ5.4%減少しました。その内、輸入品は1万屯と前年同期に比べ40.0%減少しました。また、総輸出数量は822万屯と前年同期に比べ5.7%増加しました。

このような情勢の下、当社グループにおけるセメントの国内販売数量は受託販売分を含め1,055万屯と前年同期に比べ4.5%減少しました。輸出数量は278万屯と前年同期に比べ2.7%減少しました。

米国西海岸のセメント、生コンクリート事業は、新型コロナウイルス感染症の拡大があったものの、多くの州で建設業は必要不可欠なものとして事業の継続が認められ、また住宅需要も堅調であったことから、販売数量、価格ともに前年同期を上回りました。中国のセメント事業は、販売数量が減少しました。ベトナムのセメント事業は、他社との競合等の影響を受けたものの、販売数量は前年同期を上回りました。フィリピンのセメント事業は、新型コロナウイルス感染症対策の移動制限の影響を受け一部建設工事が停滞し、販売数量が減少しました。

以上の結果、売上高は4,742億5千2百万円（対前年同期14億8千2百万円減）、営業利益は315億4千4百万円（同62億4千万円増）となりました。

② 資源

骨材事業は前年同期に比べ関東地区で販売数量が減少しました。鉱産品事業は鉄鋼向け石灰石の出荷が低調に推移しました。

以上の結果、売上高は574億円（対前年同期32億7千8百万円減）、営業利益は48億9千1百万円（同6億3千5百万円減）となりました。

③ 環境事業

大船渡発電事業の稼働開始に伴うバイオマス燃料販売の増加に加え、一昨年の台風19号及び昨年の九州豪雨被害による災害廃棄物処理に取り組んだものの、新型コロナウイルス感染症の影響による電力需要の減少や石炭火力発電の稼働率低下に伴って、石炭灰処理、燃料及び排脱タンカル販売が減少した結果、売上高は577億9千1百万円（対前年同期56億2千2百万円減）、営業利益は47億5千7百万円（同9億5千5百万円減）となりました。

④ 建材・建築土木

地盤改良工事とALC（軽量気泡コンクリート）等が低調に推移した結果、売上高は540億7千6百万円（対前年同期59億7千8百万円減）、営業利益は22億6千1百万円（同11億2百万円減）となりました。

⑤ その他

売上高は644億7千7百万円（対前年同期89億6千2百万円増）、営業利益は47億4千1百万円（同26億3千5百万円増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は前連結会計年度末に比べ337億1千9百万円増加して1兆666億4千3百万円となりました。流動資産は前連結会計年度末に比べ377億2百万円増加して3,562億4百万円、固定資産は同39億8千2百万円減少して7,104億3千8百万円となりました。流動資産増加の主な要因は現金及び預金が増加したことによるものであります。固定資産減少の主な要因は機械装置及び運搬具が減少したことによるものであります。

負債は前連結会計年度末に比べ111億6千3百万円増加して5,708億4千5百万円となりました。流動負債は前連結会計年度末に比べ27億7千9百万円増加して3,165億5千万円、固定負債は同83億8千4百万円増加して2,542億9千4百万円となりました。流動負債増加の主な要因は1年内償還予定の社債が増加したことによるものであります。固定負債増加の主な要因は社債が増加したことによるものであります。有利子負債（短期借入金、コマーシャル・ペーパー、1年内償還予定の社債、社債、長期借入金の合計額）は、前連結会計年度末に比べ27億2千7百万円増加して2,688億4千3百万円となりました。

純資産は前連結会計年度末に比べ225億5千6百万円増加して4,957億9千7百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、現時点では2020年11月10日に公表しました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	51,641	80,756
受取手形及び売掛金	159,048	162,241
電子記録債権	13,507	23,243
商品及び製品	30,897	27,450
仕掛品	2,310	2,966
原材料及び貯蔵品	45,075	44,085
その他	17,324	16,312
貸倒引当金	△1,302	△851
流動資産合計	318,502	356,204
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	138,947	135,894
機械装置及び運搬具（純額）	162,944	154,812
土地	164,869	165,855
その他（純額）	77,792	83,813
有形固定資産合計	544,553	540,375
無形固定資産		
のれん	179	186
その他	29,634	28,470
無形固定資産合計	29,814	28,657
投資その他の資産		
投資有価証券	82,931	89,173
退職給付に係る資産	11,090	11,672
その他	52,358	46,804
貸倒引当金	△6,327	△6,244
投資その他の資産合計	140,053	141,405
固定資産合計	714,420	710,438
資産合計	1,032,923	1,066,643

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	83,430	86,589
電子記録債務	5,330	8,369
短期借入金	120,783	116,718
コマーシャル・ペーパー	12,000	-
1年内償還予定の社債	-	10,000
未払法人税等	6,024	5,245
賞与引当金	6,158	3,257
その他の引当金	139	62
その他	79,906	86,309
流動負債合計	313,771	316,550
固定負債		
社債	30,000	50,000
長期借入金	103,332	92,125
退職給付に係る負債	24,999	23,769
役員退職慰労引当金	521	463
特別修繕引当金	128	167
その他の引当金	828	527
資産除去債務	7,341	7,783
その他	78,758	79,457
固定負債合計	245,910	254,294
負債合計	559,682	570,845
純資産の部		
株主資本		
資本金	86,174	86,174
資本剰余金	60,233	60,291
利益剰余金	326,086	355,957
自己株式	△16,098	△21,109
株主資本合計	456,395	481,313
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,723	10,141
繰延ヘッジ損益	△0	△0
土地再評価差額金	4,968	4,961
為替換算調整勘定	△21,413	△27,084
退職給付に係る調整累計額	△9,995	△9,263
その他の包括利益累計額合計	△19,716	△21,246
非支配株主持分	36,563	35,730
純資産合計	473,241	495,797
負債純資産合計	1,032,923	1,066,643

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	662,992	652,714
売上原価	520,094	508,811
売上総利益	142,897	143,903
販売費及び一般管理費	100,741	95,707
営業利益	42,156	48,195
営業外収益		
受取利息	357	374
受取配当金	1,032	1,031
持分法による投資利益	2,690	2,254
その他	2,323	2,396
営業外収益合計	6,404	6,056
営業外費用		
支払利息	2,968	2,752
その他	3,186	2,150
営業外費用合計	6,155	4,903
経常利益	42,405	49,348
特別利益		
固定資産処分益	647	2,712
投資有価証券売却益	169	3,317
受取補償金	2,730	-
その他	47	193
特別利益合計	3,595	6,223
特別損失		
固定資産処分損	2,794	2,577
臨時休業等による損失	-	547
その他	402	455
特別損失合計	3,196	3,581
税金等調整前四半期純利益	42,804	51,990
法人税等	10,972	12,569
四半期純利益	31,832	39,421
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,290	2,257
親会社株主に帰属する四半期純利益	30,541	37,163

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	31,832	39,421
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,514	3,423
繰延ヘッジ損益	3	△0
為替換算調整勘定	△4,214	△6,124
退職給付に係る調整額	281	710
持分法適用会社に対する持分相当額	△328	△161
その他の包括利益合計	△1,743	△2,151
四半期包括利益	30,089	37,269
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	29,170	35,641
非支配株主に係る四半期包括利益	918	1,627

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書に関する注記)

臨時休業等による損失

当社グループの連結子会社において、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を背景とした各国政府や地方自治体の要請等に基づき、工場・商業施設の操業・営業を停止した期間中の固定費を特別損失に計上したものであります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

2020年5月20日開催の取締役会の決議に基づき、自己株式1,993,200株の取得を行っております。このことなどにより、当第3四半期連結累計期間において自己株式が5,010百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が21,109百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。但し、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる会社については、法定実効税率を使用して計算した金額を計上しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	セメント	資源	環境事業	建材・ 建築土木	計				
売上高									
外部顧客への売上高	467,542	42,019	57,756	56,916	624,234	38,757	662,992	—	662,992
セグメント間の内部 売上高又は振替高	8,192	18,658	5,657	3,138	35,647	16,757	52,404	△52,404	—
計	475,734	60,678	63,413	60,055	659,881	55,515	715,397	△52,404	662,992
セグメント利益	25,303	5,526	5,712	3,363	39,907	2,105	42,013	142	42,156

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、エンジニアリング事業、情報処理事業、金融事業、運輸・倉庫事業、化学製品事業、スポーツ事業等を含んでおります。
 2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
 該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	セメント	資源	環境事業	建材・ 建築土木	計				
売上高									
外部顧客への売上高	465,926	39,603	50,099	50,813	606,442	46,272	652,714	—	652,714
セグメント間の内部 売上高又は振替高	8,325	17,796	7,692	3,262	37,077	18,204	55,282	△55,282	—
計	474,252	57,400	57,791	54,076	643,519	64,477	707,996	△55,282	652,714
セグメント利益	31,544	4,891	4,757	2,261	43,454	4,741	48,195	△0	48,195

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、エンジニアリング事業、情報処理事業、金融事業、運輸・倉庫事業、化学製品事業、スポーツ事業、電力供給事業等を含んでおります。
 2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
 該当事項はありません。